

平成31年全国学力・学習状況調査(2019.4.18)の結果からみた

国語・数学・英語の力と学習や生活の状況

◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ

★国語について

- ◎「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」など、すべての領域で全国平均を上回っています。また、記述式の問題の正答率が全国平均を大きく上回っています。
- ◎「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く問題や、話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く問題、話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する問題の正答率は、全国平均を大きく上回っています。1学年から継続して取り組んでいる「コラム書き写し」で、文章を読み取る力や、自分の考えを文章で表現する力が着実に身につけてきています。
- ▲投稿先の名前と住所を封書の書き方に注意して正しく書く問題は正答率が低く、全国平均を下回っています。特に、投稿先の名前を住所より大きく書くことが身につけていない生徒が多かったようです。手紙を出す機会が少ないことも事実ですが、これを機に手紙の正しい書き方について再度復習しておく必要があります。
- ▲広報誌の一部にある情報を用いて、地域の店の魅力の具体例を書き加える問題の正答率は、全国平均をわずかに下回っています。資料を活用して考える力に課題があるようです。3学期のNIEの活動として、自分が選んだ新聞記事の要約と感想を班で発表し合う「マイトップニュース」を行います。この活動を通して、伝えたい内容を根拠を明らかにして書く力をつけていきたいと考えています。

★数学について

- ◎「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」など、すべての領域で正答率は高く、「資料の活用」や「数学的な技能」が特に全国平均を大きく上回っています。
- ◎読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める問題と、調査からわかったことの根拠となる代表値として適当なものを選択する問題の正答率は全国平均を大きく上回っています。「最頻値」や「中央値」などの代表値が意味する内容をしっかり理解できているようです。
- ▲aとbが正の整数の時、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ問題の正答率は低く、全国平均を下回っています。数の集合と四則計算の可能性についての理解が不十分のようです。また、反比例の表から式を求める問題では、正答率が低いだ

けでなく無回答が目立ちました。類似問題に多く取り組ませることで定着を図る必要があります。

- ▲冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて式やグラフを用いて2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する問題や、四角形ABCDがどのような四角形であれば、 $AF = CE$ になるかを説明する問題、1日あたりの読書時間を示すヒストグラムをもとに、「1日に26分ぐらい読書している生徒が多い」という考えが適切ではない理由を説明する問題の正答率が低く、無回答が目立ちました。問題解決の方法を数学的に説明する力や判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力が不十分なようです。適切な数学用語を用いて、論理的に説明する力をつけるために、数学の授業で根拠を明確にして自分の考えを説明する機会を増やし、説明する力をつけしていきます。

★英語について

- ◎「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」など、すべての領域で全国平均を上回っています。また、「言語や文化についての知識・理解」や記述式の問題で全国平均を大きく上回っています。
- ◎与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く問題や、与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く問題の正答率は全国平均を7～9ポイント上回っていました。
- ▲家での会話を聞いて、その内容を適切に表している絵を選択する問題の正答率は全国平均を下回っています。また、留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く問題の正答率は全国平均は上回っているものの低く、無回答も目立ちました。情報を正確に聞き取る力をつけるために、強勢やイントネーション、区切りなどに気をつけて音声を正確に聞き取れるよう、普段の授業でALTの発音を聞き取る機会やリスニングテストの回数を増やします。また、聞いて把握した内容について適切に応じる力をつけるために、英作文のドリルを継続的に行っていく必要があります。
- ▲食料問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く問題の正答率は低く、無回答も目立ちました。英作文の力をつけることはもちろん大切ですが、書かれた内容に対して自分の考えを示すことができるよう、本校が取り組んでいるNIEの活動で、新聞記事を読んで記事の内容を要約したり、記事に対する自分の考えを書く活動を、今後も継続して行っていきます。また、授業において新聞記事を読んだ感想を英語で表現するなど、英語の教科でのNIEにも取り組んでいきたいと考えています。
- ▲学校を表す2つのピクトグラムの案を比較して、どちらが良いか理由とともに意見を書く問題の正答率は全国平均同様低い結果でした。与えられた情報やテーマについて考えを整理し、正しい文法や文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く力をつけていく必要があります。

★学習や生活について

- ◎朝食を毎日食べる, 毎日同じくらいの時間に起きるなど, 基本的な生活習慣が身についています。いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている生徒や, 学校での規則をよく守っている生徒の割合は一昨年, 昨年に引き続き95%を越えています。また, 放課後や週末は部活動に参加している生徒がほとんどで, 学校に行くのは楽しいと思っている生徒や読書が好きな生徒, 将来の夢や目標を持っている生徒, 人の役に立つ人間になりたいと思っている生徒, ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある生徒の割合はどれも全国平均を上回っています。
- ◎地域の行事に参加する生徒や地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある生徒の割合が全国平均を上回っています。今後も1, 2年での地域調べやキャリア学習を継続していくとともに, 「地域と進める体験推進事業」や, 生徒会のボランティア活動をより積極的に進めていきます。
- ◎外国の人と友達になったり, 外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思っている生徒や, 日本やあなたが住んでいる地域のことについて, 外国の人にもっと知ってほしいと思う生徒の割合は全国平均を上回っています。本年度から校区内小学校と連携して取り組んでいる人権教育の活動を通し, さらに外国人理解を深めていきたいと考えています。
- ◎▲生徒の間で話し合う活動を通じて, 自分の考えを深めたり, 広げたりすることができていると思う生徒は昨年より改善され, 全国平均を上回ってきました。1, 2年生のときに受けた授業では, 課題の解決に向けて, 自分で考え, 自分から取り組んでいたと思う生徒や, 自分の考えを発表する機会では, 自分の考えがうまく伝わるよう, 資料や文章, 話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う生徒の割合は, 全国平均とほぼ同じレベルになってきましたが, 県平均をやや下回っています。本年度より新たに加えたNIEの「コラムに見出しをつけるための班の話し合い」活動を通して, 本校の研究主題である, 自分の考えを持ち, 伝え, 認め合い, 支え合い, 深めることができる生徒の育成に努めていきたいと考えています。
- ◎▲自分によいところがあると思うと答えた生徒の割合は昨年より少し改善され, 全国平均をわずかに上回りましたが, 県平均を下回っています。先生は, あなたのよいところを認めてくれていると思うと答えた生徒は昨年同様, 県平均や全国平均を下回っています。教育活動のさまざまな場面において, 生徒の小さな前進を見逃すことなく認め, 褒めることにより生徒が自己肯定感を持ち, 自信を持っていろいろな活動に意欲的に取り組んでいけるよう今後も努めていきます。
- ▲新聞をほぼ毎日読んでいる, または週に1~3回程度読んでいる生徒は全国平均をわずかに上回っていますが, 13ポイントと低いです。今年からNIE活動に取り入れた, 「マイトップニュース」の活動で生徒が興味ある新聞記事を探すことで新聞にふれ合う機会をふやし, 地域や社会の出来事に対する関心を高めるとともに, 自分の考えを持ちわかりやすく伝え, 考えを深めることができる生徒の育成に努めます。